

株式会社ゴルフ・ドウ

平成27年3月期 中間期連結決算説明補足資料

当社が発表する資料やホームページ記載内容等には、現在の計画、見通し及び戦略等が含まれる場合があります。いずれの場合におきましても歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、記載されている情報は最終更新日時点のものであり、ゴルフ・ドウ！はこれらの更新・改訂に対し責任を追うものではありません。

平成26年11月21日
株式会社 ゴルフ・ドウ

平成27年3月期 上半期の主な動き

・直営事業本部 社内研修制度

「ゴルフ・ドウ！カレッジ」始動！



3月1日オープン of 宇都宮鶴田店も
本格稼働！



・FC事業本部

新規出店 4月5日 倉敷笹沖店



平成27年3月期 上半期のゴルフ業界概況

ゴルフ業界では、消費税増税による生活防衛意識の高まりから、消費に対する節約志向が一段と強くなっており、売上の回復はままならない状況です。しかしながら、第2四半期後半になり、9月以降に発売される新製品に合わせてマークダウン品の動きや予約が先行し、前年並みの売上を獲得できるまでには回復してまいりました。なお、ゴルフ場／練習場の利用者数は前年同月比8月100.2%／103.5%、9月105.9%／102.2%と堅調に推移しております。（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」）

ゴルフ場の平成25年度売上高は1ゴルフ場当たり、前年比0.7%増となる見通しとなり、2年ぶりに売上増となる。各ゴルフ場がシニア向け割引料金プランを強化したことで、60歳以上のゴルファーの利用が増えたことが主因。平均来場者数は、同2.3%増の5万3415人になる見込みであることが、「第20回ゴルフ場主要コース調査」に発表された。（日本経済新聞社平成26年11月14日掲載）



各社一斉に2015年NEWモデルを発表！

平成27年3月中間期連結決算サマリー

単位(千円)

	平成26/3月期 第2四半期累計期間	構成比	平成27/3月期 第2四半期累計期間	構成比	前年同期比	平成26年3月期	構成比
売上高	2,238,704	100.0%	2,187,150	100.0%	97.7%	4,312,733	100.0%
売上総利益	762,048	34.0%	800,350	36.6%	105.0%	1,458,833	33.8%
販管費	740,054	33.1%	776,748	35.5%	105.0%	1,524,976	35.4%
営業利益	21,994	1.0%	23,602	1.1%	107.3%	-66,143	—
経常利益	21,936	1.0%	18,469	0.8%	84.2%	-69,020	—
税引前当期利益	21,936	1.0%	42,282	1.9%	192.8%	-95,235	—
当期利益	9,080	0.4%	28,987	1.3%	319.2%	-115,487	—

直営事業にて消費税増税に対して販促活動などさまざまな施策を計画、実行してまいりましたが、購入客数の減少など収益を圧迫する状況が続きました。しかしながら8月中旬以降、秋からの新製品を見越したマークダウンや新製品の発表に伴い、中古クラブの売上が回復してまいりました。

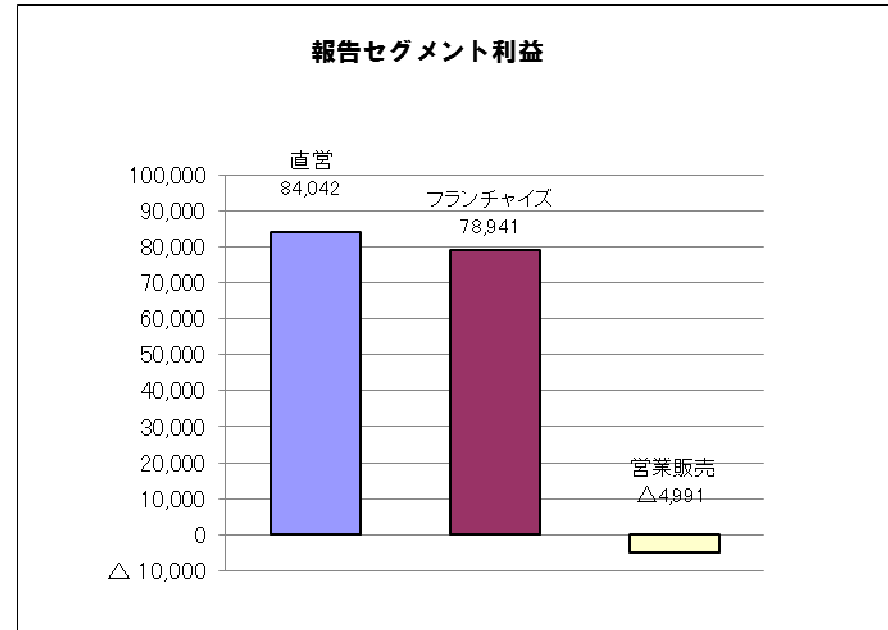
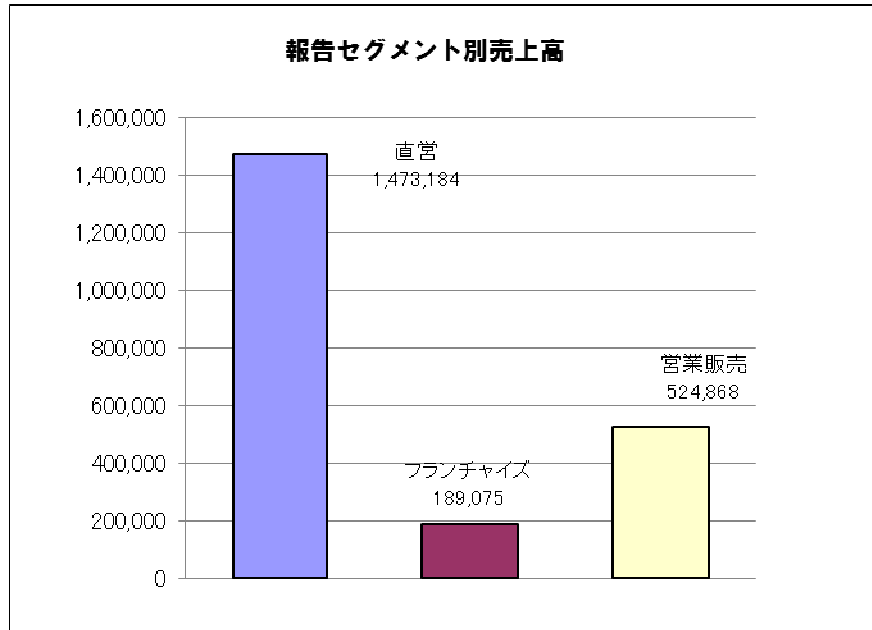
営業販売事業におきましては、更なる円安局面では直輸入商材への発注は減少し、国内特価商材の受注獲得に努めてまいりました。

また、フランチャイズ事業では、平成26年7月に「名東よもぎ台店」が閉店し、当第2四半期連結累計期間におきまして、1店舗出店、2店舗閉店となりました。

従いまして、平成26年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計74店舗となっております。

報告セグメント別売上高及び利益額

平成27年3月期 第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～9月30日)

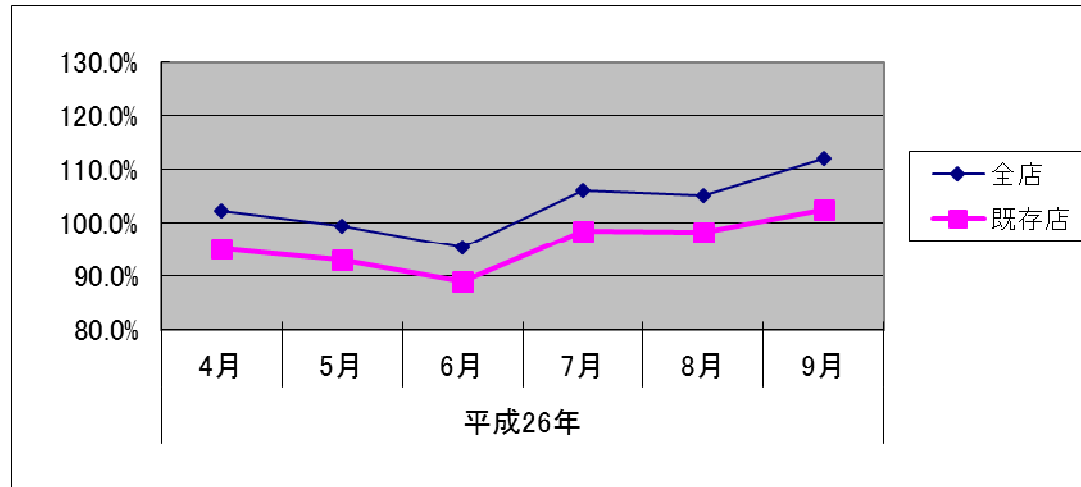


- 【直 営】 消費税増税による消費減退の影響から購入客数の減少など収益を圧迫する厳しい状況が続きましたが、セールなど割引、廉価企画とは一線を画した企画へと販促活動の内容を変更したことにより、粗利益率が第1四半期連結会計期間と比べ2ポイント余り改善いたしました。
- 【フランチャイズ】 特に西日本エリアでは消費税増税による影響とともに大型台風やゲリラ豪雨による影響を受けましたが、特価商材や備品をFC加盟店に販売することで前年並みの売上を確保いたしました。
- 【営 業 販 売】 更なる円安の影響により輸入商材に対する受注が減少しており、国内商材による商品提案を強化してまいりましたが、むしろ国内以上に海外子会社にて厳しい経営環境が続きました。

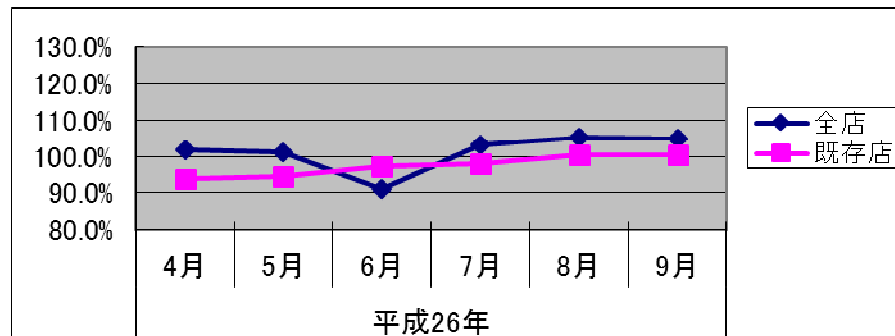
ゴルフ・ドゥ！ 月次売上推移状況(売上高前年比)

期間:平成26年4月1日～9月30日

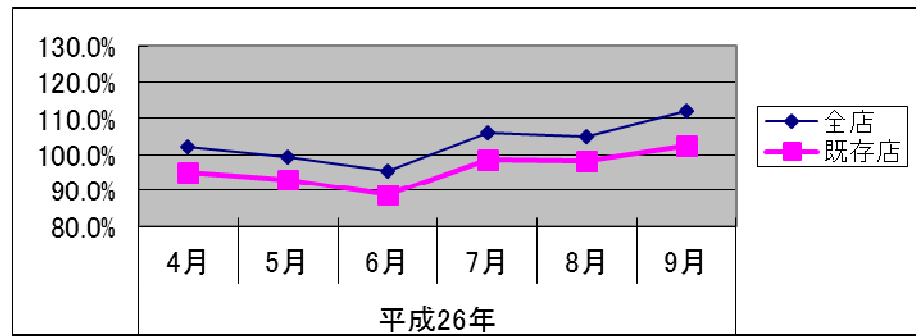
直営店



チェーン全店



FC加盟店



連結貸借対照表

単位(千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	構成比	第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)	構成比	前期末比
流動資産	1,773,236	73.9%	1,755,245	71.8%	99.0%
固定資産	625,182	26.1%	688,520	28.2%	110.1%
資産合計	2,398,419	100.0%	2,443,766	100.0%	101.9%
流動負債	1,076,235	54.7%	1,131,459	57.5%	105.1%
固定負債	891,791	45.3%	835,665	42.5%	93.7%
負債合計	1,968,026	100.0%	1,967,125	100.0%	100.0%
純資産合計	430,392	17.9%	476,641	19.5%	110.7%

連結キャッシュ・フロー

単位:千円

	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日～9月30日)
営業活動によるキャッシュフロー	△4,565	182,684
投資活動によるキャッシュフロー	△ 20,414	△ 53,722
財務活動によるキャッシュフロー	90,355	△ 21,624
現金及び現金同等物の増減額	68,737	107,644
現金及び現金同等物の期首残高	253,818	416,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	322,555	524,262

平成27年3月期 下期のセグメント別戦略

直営事業

店舗では、熱烈なファンづくりのための「徹底したホスピタリティサービス」の実行
本社では、会員情報の活用により来店動機づけの仕組みをつくる

トピックス 平成26年12月下旬オープン予定
新業態店舗“ゴルフ・ドウ！スタジオ”

練習場インショップとしてリペア工房に特化した
新たな形態の直営店1号店を展開いたします



フランチャイズ事業

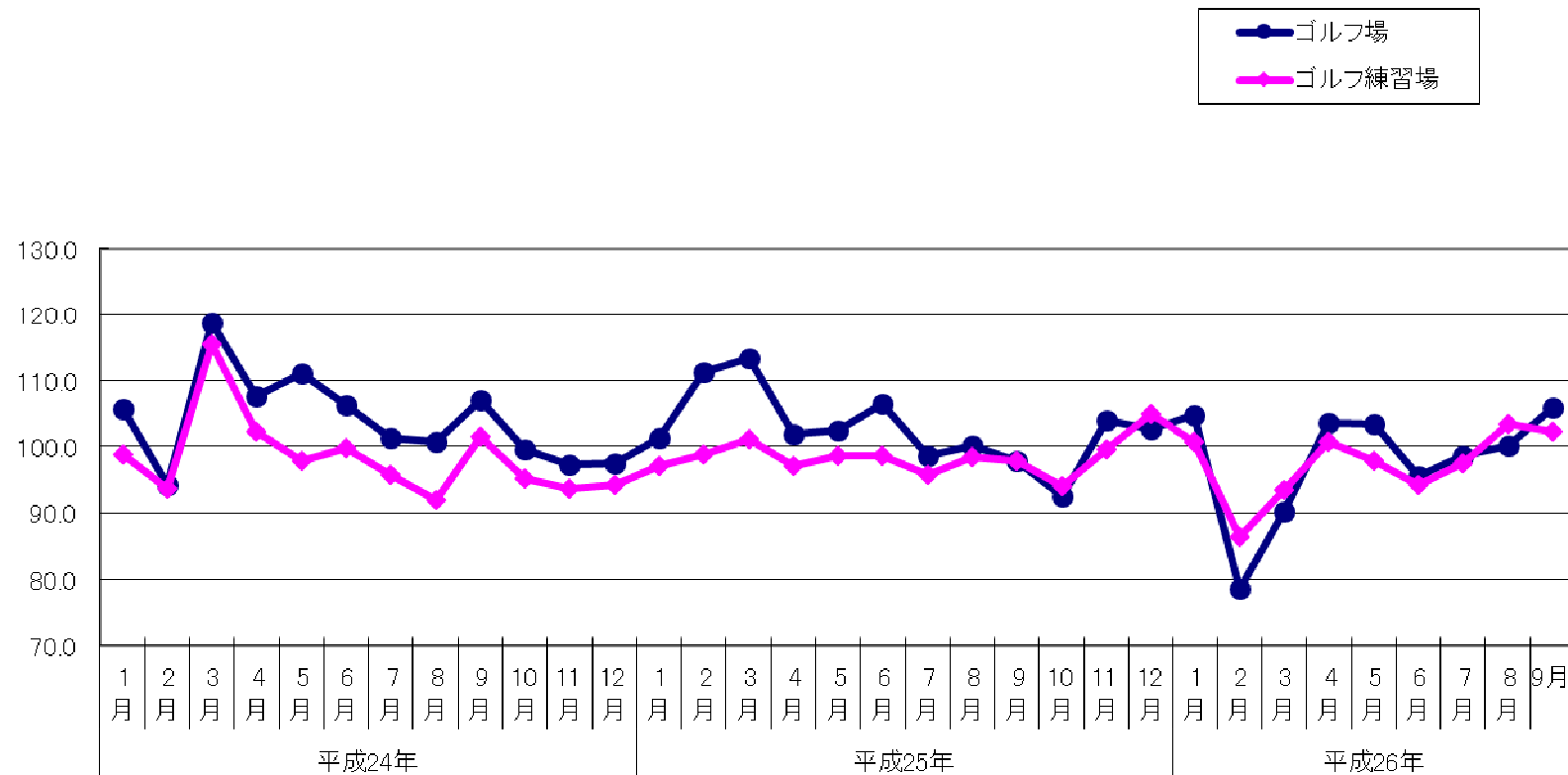
直営成功事例の迅速な提案を継続する

営業販売事業

グループ一体となり、他社にない自社の強みを活かす＋営業力強化

参考資料

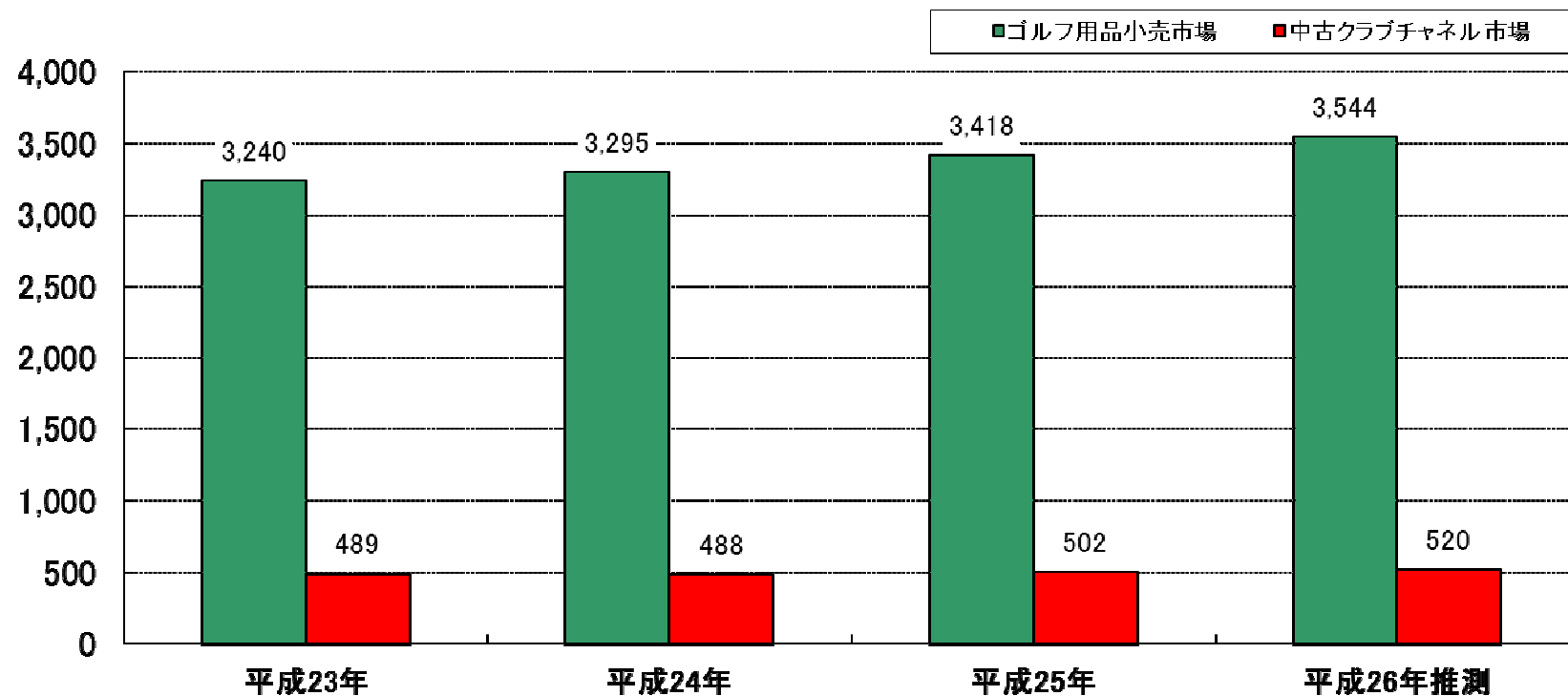
ゴルフ場・ゴルフ練習場入場者数前年同月比(%)



経済産業省「特定サービス産業動態調査」

参考資料

ゴルフ用品市場規模及び中古ゴルフショップ市場規模の推移(億円)



参考;ゴルフ用品市場「レジャー白書2013」
中古クラブ市場「矢野経済研究所:2013年版ゴルフ産業白書」